



福祉クラブ生協機関紙

# うるびー

2022/No.364

7  
JULY福祉クラブ生活協同組合 〒223-0057 横浜市港北区新羽町 868 TEL045(547)1400 発行責任者 大場英美 <http://www.fukushi-club.net/>

{坪田さつき画}

## 第33回 福祉クラブ通常総代会の開催 次世代へつなぐ一年に いざ出発！



今年は実出席と書面議決書の併用で開催しました

組合員を代表して、1年間の活動方針を審議・決定する重要な総代会。6月2日、横浜市教育会館において、今年は新型コロナウィルス感染症拡大防止対策を徹底し通常開催の上、総代150名中、「実出席」(61名)

「書面議決書」(83名)を併用して開催しました。



新理事を含め理事25名と監事4名が承認されました

●役員の改選 4名の新理事を含む理事25名、監事4名が承認されました。

●追加増資の実施 第7次5ヵ年計画における、地域の街づくりの実施に向けて、自己資本を高めるために、組合員からの追加増資の実行が承認されました。具体的な実施時期・方法などは、2022年度理事会にて検討し、組合員の皆さんへお知らせします。

### 2021年度活動報告

- ① 会議運営やイベントなどの縮小で、直接会って伝えることが難しい1年でしたが、感染拡大対策の上、さまざまな活動に取り組みました。初の試みとして、秋には「ふくしまつりonline」を開催し、生産者や組合員とのつながりを実感できました。
- ② 生活クラブ事業連合システム導入に向けて組合員への説明や対応を進めました。若い世代とつながることを目的とした「みんなのひろば」「拡大キャンペーン」活動を行いました。
- ③ 替り合って運動の継続性を高めるために、W.Coメンバーの参加を促進する賛同者拡大が最重要テーマでしたが、拡大実績は低調であり、大きな課題を残しています。
- ④ 福祉クラブで3つ目の住宅型有料老人ホームを含む複合福祉施設「みのり藤沢」を5月に開設しました。内覧会や体験入居の呼びかけなど、広報活動を推進しましたが、入居者数が計画達成に到らず、次年度へ向けて引き続き対策の強化を図る必要があります。
- ⑤ 多世代が集い市民参加によるたすけあい活動を広げるため「ちょっとサポート」「居場所づくり」「健康チェック」など取り組みました。「新たな事業調査研究PJ」では、核家族化や少子化が進む都市部の生活課題としてさまざまな貧困を抱える子どもたちをサポートする子ども食堂、学習支援等の取組方針をまとめました。（三上）

### 2022年度活動方針

第7次5ヵ年計画の3年目として、人口減少・高齢化がもたらすさまざまな課題に対して「組合員どうしのたすけあい」の発展をめざし、賛同者拡大、W.Coメンバーへの参加促進を最重要テーマとします。コロナ禍で求められる地域力を育む小さなたすけあいの実践の必要性を、大ぜいの意思ある市民に呼び掛けていきます。

#### ① 「もっと良くなる共同購入」

生活クラブ事業連合システム導入を機に、共同購入を通じて未来に向けて次世代につなぐ賛同者拡大を広げます。

#### ② 「入居施設:みのり藤沢」

さまざまな在宅福祉支援システムとのつながりを活かし、開所2年目として各種計画の達成をめざします。

#### ③ 「地域力が求められる社会で、市民参加型福祉の継続に向けて」

「運動の持続性を担保する事業マネジメント強化PJ」答申より、福祉・施設の各種サービスの資源の共有化や事業の効率化への対策を実行します。

#### ④ 「子ども・子育て世代を元気にする活動支援として」

福祉クラブ活動支援基金の選択の一つとして創設した「みらい子ども・子育てサポート基金」実施に向けて準備します。（山下）

### おりーぶさんとカコさんの相談室

#### Q メンタル強化、どうすれば？

子どもが成長するにつれて、悩み事も変化してきました。例えば地域の「子ども会」。加入したいけれど役員をするのが嫌で現在は加入していません。会合の拘束時間中の子どもの様子も気になったり、会合を休んだ時の申し訳ない空気を感じ、気にしないで良いですよと言われても気にしてしまうのです。自分のメンタルの弱さに悩んでいます。これから先、何度も出会う現実だと思うので、このような時の対応策やメンタル強化についてどうぞアドバイスをお願いします。（子育てに悩みがつきないメンタル弱い母 30代）

※相談室へのご相談はうるびー編集室までお寄せください。



#### A おりーぶさんのお答え

お子さんの成長が進む時期がコロナ禍と重なり、「内向き」になった気持ちを、そろそろ切り換える時ですね。「強化」とは、何らかのハーダルを自分自身に課して、その克服のために努力することです。「子ども会」に集う親御さん達も、それぞれ様々な状況に遭遇し、その時に助け合いながら運営していることでしょう。「出来ないことを受け入れ、できることを信じて進む」という一文に出会いました。不足や失敗のない状態を前提にしては何事も前に進みません。ご自分で実際に他の方達と交流し、共に前進する過程の「苦楽」を経験することこそが「メンタル強化」に不可欠ではないかと思います。お子さんのためにもご健闘を祈ります。



